

三井倉庫HD、主力の物流好調で3Q営業益8割増

Edited By LogisticsToday On 2019/02/05

三井倉庫ホールディングスが5日発表した2018年4-12月期（19年3月期第3四半期）決算は、主力の物流事業が好調に推移したことを受けて売上高が4.8%増収（前年同期比）の1842億円、営業利益が79.8%増益の102億円、最終利益が25.9%増益の42億円となった。

物流事業では、「抜本的な事業収益力の強化」を掲げる中期経営計画に沿って販管費などのコスト削減、荒利益改善策の実行などに取り組んだほか、国内外でフォワーディング業務が好調に推移。自動車部品関連の航空貨物でプロジェクト輸送が発生し、注力分野のヘルスケア貨物の保管荷役業務も取り扱いが伸びた。また、家電量販向け輸配送も増加するなど、同事業が全般的に好調さを維持した。

通期は売上高2400億円（前期比2.9%増）、営業利益120億円（71.5%増）、最終利益49億円（11.2%増）を見込む。

■2019年3月期第3四半期

	累計（百万円）	前年同期比	対売上高利益率
売上高	184,261	4.8%	
営業利益	10,273	79.8%	5.5%
経常利益	9,574	62.6%	5.1%
四半期純利益	4,271	25.9%	2.3%

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/335600>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.